

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		情報セキュリティ管理事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.	060304000259
総合計画の施策名		0603 時代に合った自治体運営				単独/補助	単独	所属課	010201
政策体系	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり				主要事業		企画課	
	施策名	03 時代に合った自治体運営				市長マニフェスト			
	手段名	04 ④適確な市民サービスの提供と個人情報の保護				未来PJ事業		グループ	企画グループ
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	09	01	00	情報管理事業		
法令根拠						単年度繰返し (平成17年度~)			
						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	<p>①事務事業の概要 (事務事業の全体像)</p> <p>平成19年度に桜川市情報セキュリティポリシーを新規に制定され、コンピュータシステムやそれらを取り扱う全職員を対象としたルールが作られた。制定と同時に、端末管理ソフトの導入を始め、Webフィルタリングソフト、IDS機能を追加するなどセキュリティ対策の強化してきた。</p> <p>平成28年度には、国の指導及び補助金を受けて、インターネット網との分割、二要素認証の実施、外部記憶媒体の管理機能を導入して情報セキュリティ対策の強化が図られた。</p> <p>今後は、セキュリティポリシーを元にしてコンピュータシステムの安全性と信頼性を確保するために、職員研修、セキュリティ対策、自己点検、セキュリティ監査等、必要な対策を実施していく。</p>
	<p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <p>人的セキュリティの強化を図るために地方自治情報センターが主催するe-ラーニングによる情報セキュリティ研修をパソコンを利用する職員及び嘱託臨時職員を対象に実施する。①研修内容決定。②研修実施日程を決定し申込、ID・PWを取得と配布。③職員の研修会受講。④受講状況を確認、終了証の確認。</p> <p>ウイルス対策ソフト、Webフィルタリングソフト、端末管理ソフトの管理機能等で異常の有無を日々確認し、パソコンの隔離や経過確認など必要な対応を行う。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
①e-ラーニング研修の実施。 ②ウイルス対策ソフト、端末管理ソフトの管理機能で異常の確認。 ③インシデントの対応	ウイルス対策ソフト・管理ソフトの導入	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	講習会の受講者数	人	420.00	404.00	420.00	420.00	420.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
コンピュータシステム及びそれを利用する職員	利用端末台数	台	540.00	531.00	540.00	540.00	540.00
	職員数	人	379.00	393.00	378.00	378.00	378.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
情報セキュリティの品質を高める。	情報漏洩事故等の発生件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ウイルス感染事故の発生件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	14,092	10,081	21,393	0
	事業費計 (A)	千円	14,092	10,081	21,393	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

13 委託料	181		13 委託料	1,393	
18 備品購入費	9,900		18 備品購入費	20,000	
	合計	10,081		合計	21,393

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容

02年度の事業内容

03年度の事業内容

<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			
--	--	--	--

事務事業名	情報セキュリティ管理事業	事務事業No.	60304000259	所属課	企画課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 平成19年度に桜川市情報セキュリティポリシーを策定した。
 平成22年度11月に総務省の地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインが一部改定され、それに伴い平成23年3月に桜川市情報セキュリティポリシーも改定した。
 職員及び嘱託臨時職を対象にして、平成20年度からは毎年e-ラーニングによる情報セキュリティ研修を開催している。
 ウィルス対策ソフト、資産管理ソフト並びにWEBフィルタリングを行い、セキュリティ対策を行う。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 近年電子メールを偽って送信したり、ホームページを改竄するなど特定の事業者や団体を狙った標的型攻撃が増加している。この為、情報セキュリティ対策として人的対策、物理的対策を行う必要がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	情報システムを扱うルール作りとその実践は、現代の行政事務事業の中で必須となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	業務システムのセキュリティ対策を事業主体として必要な取り組みである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	セキュリティに係る脅威は常に新しい形態で出現するので、定型的な対応では対応に洩れが発生しやすく、危険性が拡大する。 また、外部からの攻撃に加えて、内部からの攻撃に強硬化する必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	セキュリティ脅威に対応出来なくなり、ウィルス感染や情報漏えい事故等が強く懸念される。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 他に手段無し
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	必要最低限の業務量で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	正確な住民情報を保護し、かつ情報流出事故を防止する対策は、住民サービスとして公平に作用している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>eラーニング研修を実施したが、人的セキュリティ対策を向上するためにも研修内容等に变化を持たせてセキュリティ対策を向上する必要がある。</p>																					
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						
<p>(6) 事務事業優先度評価結果</p> <p>成果優先度評価結果 ⑤</p> <p>コスト削減優先度評価結果</p>																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

<p>(1) 課長評価</p> <p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出</p>	<p>(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)</p> <p>確認欄 <input type="checkbox"/></p>
--	---